



NAのままで煮詰めに煮詰め 150psに迫るパワーを獲得した

NAのチューニングでは、圧縮と点火にこだわる。圧縮を上げるため、最初はプロバン車用を流用し、現在はプリウス用ピストンを採用。カム、コンロッドは、JUN製を流用した。純正比で10mm以上大径のスロットルはセラカ用、ワンオフのサージタンク内には4連ファンネルを備えるなど、流用・ワンオフを駆使している。制御はLINKコンピュータで煮詰めた。ミッションは3〜5速をクロス化し、ファイナルでローギアード化（自走すると100km/h時3500rpmなのだから）。筑波や日光サーキットでは、コレで対応できるという。



AE86用のオイルクーラーを追加した。「サーキットを走るなら必須」と熊倉さん。AT車で走るなら、ATFクーラーも検討した方が良さそう。



ワンオフ製作したサージタンクが存在感抜群！この中には、4連ファンネルが搭載されている。走行風を積極的に取り込む工夫も盛り込んでいる。



スロットルはセラカ用（2ZZエンジン）だが、実は以前も1ZZエンジン用を使用していた。現在、純正比で10mm以上大径仕様となっている。



デフィのマルチディスプレイやブリッドのフルバネなど、車内はスポーツカーそのもの！ステアリングに加え、ペダル類まで細かく見直し、正確な操作ができるよう気を配っている。



「箱車を曲げるにはキャンバーが必要」(熊倉さん)



サーキットを走るにはキャンバーは必須！フロントは「5度は付けた」と話す。



前後とも倒立式の高車高調。リアダンパーは立て気味になるよう、取り付け方法を見直している。フロントブレーキはMR-S用キャリパー&ローター。ヴァイツRS用を利用する手法もあるそうだ。

規定上軽量化が難しいので補強はホドホドに



JPSCでは軽量化がNGなので、重量増に繋がる補強パーツは必要最低限にとどめている。ストラットタワーのトップ部、前席背後と、的を絞って補強パーツをセットし剛性を高めている。

テクノプロスピリッツ

Techno PRO Spirit

問:テクノプロスピリッツ ☎049-235-4886 <https://www.tp-spirit.co.jp>

チューニング&メンテナンスを
お任せできるSHOPは埼玉にアリ

デモカーのような快速仕様のチューニングはもちろん、各種メンテナンスもお手のモノのプロショップ。定期的にSSRA走行会を主催しており、サーキットで走りを楽しみたいプロサッカリはぜひ！
④埼玉県川越市小中居945-1 ⑤10:00~19:00 ⑥不定休

潜在能力と走り、そして魅力！

筑波1分7秒台を記録するNA最速の配達車！

プロボックスの

本来1.5Lで100psをこそのエンジン、パンと見はいかにも商用車キッコーン2000で1周1分7秒台を計時した実績を持っている。このマシンを製作したのはライトウエイト車のチューニングを得意とするテクノプロスピリッツ。同店代表の熊倉さんは、「全日本プロボックス・サウンズ選手権（JPS）のスタートに合わせチューニングを開始」「某編集部にてそのかされた」と言うが、実際はプロボックスを存分に楽しんでいる様子。「見た目がコレなのに、サーキットで「えー」という速さ」「タイヤなどを積んでサーキットに行き、走って帰る」等々。プロボックスで走る美点を語りつづけた。さらに、レギュレーションでタイヤが15インチまでなのでランニングコストも抜群！今でこそ

価格が高値安定傾向だが、当時は手ごろな価格で車両を手に入れることができ、お金を掛けずに走りを楽しめたのである。もちろん、筑波7秒台を出すには高度なチューニングが必要だ。エンジンはNAのままだが、メカユニット+LINKコンピュータによる煮詰めで146psを記録。足まわりも前後に倒立式車高調を奢り、フロントにはたつぷりキャンバーを与えている。ミッションは5速にMR-Sのギアを活用しクロス化。ファイナルのローギアード化等々、同店のノウハウ、アイデアが各所に注入されている。確かに専用チューニングパーツは少ないかもしれない。けれど、経験・ノウハウで高度なチューニングは提供可能。テクノプロスピリッツが手掛けたマシン、がそれを証明している。



JPSCのレギュレーション上軽量化ができないが、「軽くて走らせたいね」と熊倉さん。元々11強と軽いが、軽量化できればさらに……。

テクノプロスピリッツ 熊倉俊夫代表

プロボックスでも結果を出し続ける熊倉さん。その可能性が見直され、中古車価格が高騰。「スピリッツのせいで相場が上がった」との噂もあるとか？

